Vixen®

対空双眼鏡BT81S-A鏡筒使用説明書

この度は『対空双眼鏡BT81-A鏡筒』をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この説明書は対空双眼鏡BT81S-A鏡筒の説明書です。ご使用にあたり搭載する三脚、架台などの説明書も併せてお読みください。

※観察には同種の31.7mm径接眼レンズ2本が必要です（別売）。
※架台、三脚とのセットでお買求めの場合は接眼レンズが付属していることがあります。

内容物

仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

BT81S-A鏡筒本体	1
対空双眼鏡BT81S-A鏡筒取扱説明書（本書）	1
光学機器保証書1・5年	1

⚠ 警　告　　太陽を見てはいけません。失明の危険があります。

対空双眼鏡、接眼レンズなどで太陽を絶対に見てはいけません。失明の危険があります。

⊘ 注意

○ レンズキャップを外したままで、昼間に製品を放置しないでください。望遠鏡やファインダーなどのレンズにより、火災発生の原因となる場合があります。

○ 移動中や歩行中に製品を使用しないでください。衝突や転倒など、ケガの原因となる場合があります。

○ キャップ、乾燥剤、包装用ポリ袋などを、お子様が誤って飲みこむことのないようにしてください。

お手入れ・保管について

・炎天下の自動車の中やヒーターなど高温の発熱体の前に製品を放置しないでください。
・本体を清掃する際に、シンナーなど有機溶剤を使用しないでください。
・製品に、雨、水滴、泥、砂などがかからないようにしてください。
・レンズにほこりやゴミがついた場合は、市販のカメラ用ブロアーなどで吹き飛ばしてください。
・レンズ表面は手で触れないようにしてください。指紋などでレンズが汚れた場合は、カメラレンズと同様な手順で清掃します。（カメラ用ブロアー等でホコリを吹き飛ばし、市販のレンズクリーニングペーパーを使い、軽く拭きとってください、その際レンズを傷つけないようにご注意ください。）
・保管する際は直射日光を避け、風通しの良い乾燥した場所に保管してください。

鏡筒の仕様

仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

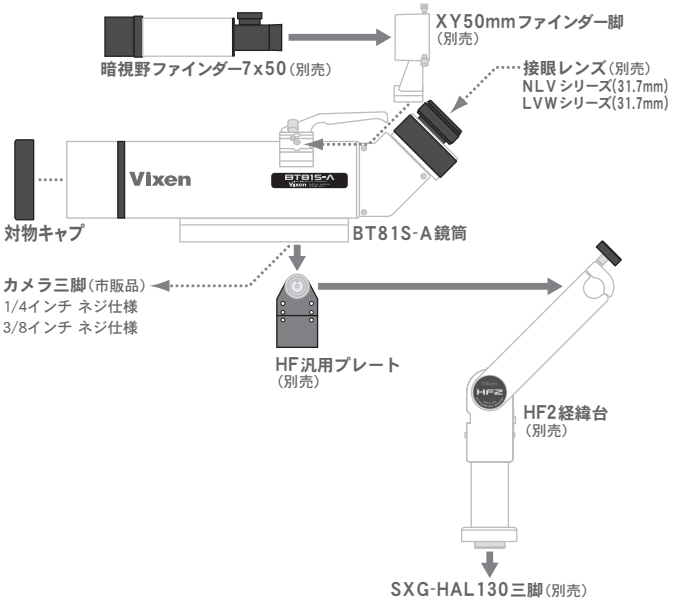
対物レンズ・有効径	81mm・アクロマート・マゼンタコート
焦点距離（口径比F）	480mm（F5.9）
分解能・極限等級	1.43秒・11.3等星
集光力	肉眼の134倍
パーツ取付サイズ	差し込み／31.7mm（スリワリ式）
接眼レンズ	31.7mmNLVシリーズ（別売）（LV8-24mmを除く）
	31.7mmLVWシリーズ（別売）
眼福	58～102mm
ファインダー	50mm用XYファインダー脚（L）（別売）
	暗視野ファインダー7倍50mm（別売）
プレート等	SX・GP対応スライドバー仕様
取付ネジ穴	W1/4×2、3/8×1
サイズ・重さ	長さ480×幅190×高さ155mm　約4.1kg
別売オプション	HF汎用プレート、HF2経緯台、SXG-HAL130三脚、接眼レンズ（31.7mm）

※注意：高倍率接眼レンズをご使用になる場合

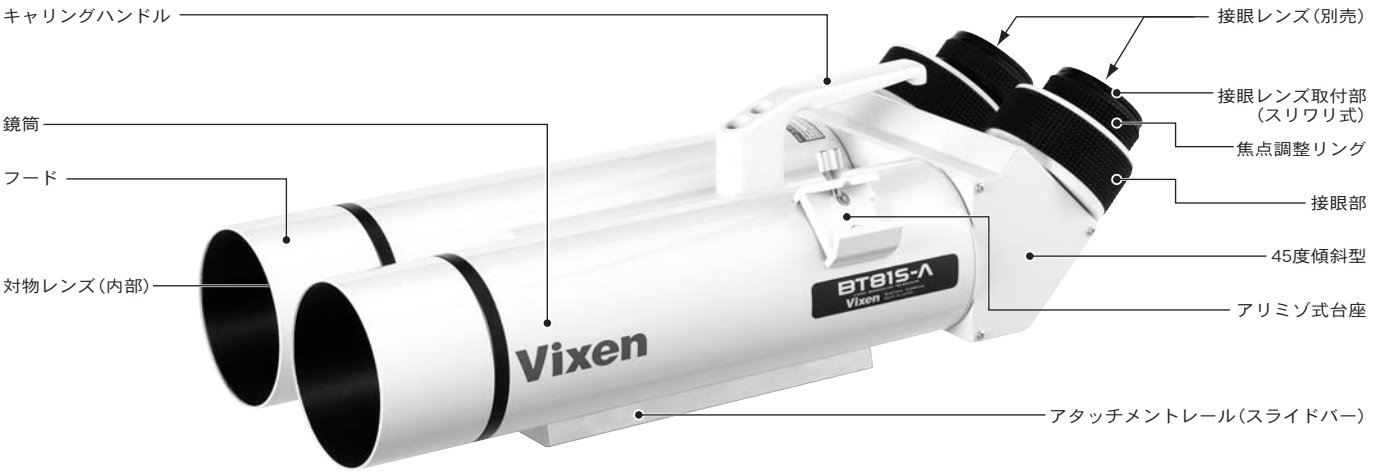
「BT81S-A鏡筒、BT125-A鏡筒」は接眼レンズを差し換えることによって倍率を変更できますが、構造上、高倍率となる接眼レンズを使用した際、光軸が合わなくなるケースがございます。ご注意ください。ご使用になる接眼レンズには、焦点距離10mm程度以上（中・低倍率）のものをおすすめいたします。

システム図

仕様は改良のため、予告なく変更する場合がございます。

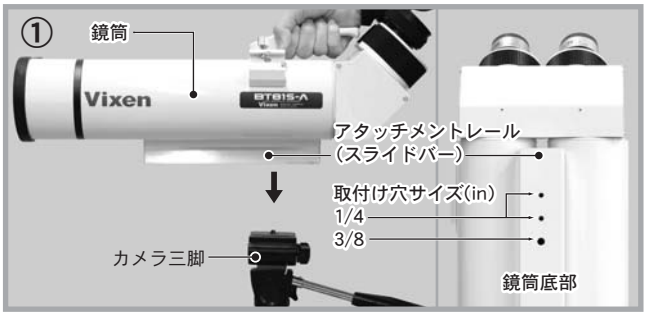


各部名称



ご使用方法

①カメラ三脚(市販の耐荷重5kg以上の三脚を推奨)に取付けてご使用いただけます。鏡筒の底部にあるアタッチメントレール(スライドバー)に三脚を取付けるネジ穴があります。ゆるまないようにしっかり固定してください。三脚のご使用方法につきましては三脚の取扱説明書をお読みください。



②接眼レンズ(別売)を取付けます。スリワリ式ですので接眼レンズのスリーブを差し込むだけで固定されます。また引き抜くだけで取外せます。

※接眼レンズを交換する時は、次項"光軸の調整"を参考に左右の接眼レンズの光軸調整を行ってください。

③右側の接眼レンズをのぞき、焦点調整リングを回しながら右目の焦点を合わせます。その後、同様にして左側の接眼レンズをのぞき、焦点調整リングを回しながら左目の焦点を合わせます。

④眼福を調整します。左右の接眼部を両手に持って折り曲げるようにしながら、左右の目の間隔に合わせます。左右の目で見える視野円が一つに重なった時の幅が正しい眼福です。

光軸の調整

同機器の性質上、接眼レンズを取付けただけでは光軸が合わないことがあります。この場合、次の手順で光軸を合わせてご使用ください。

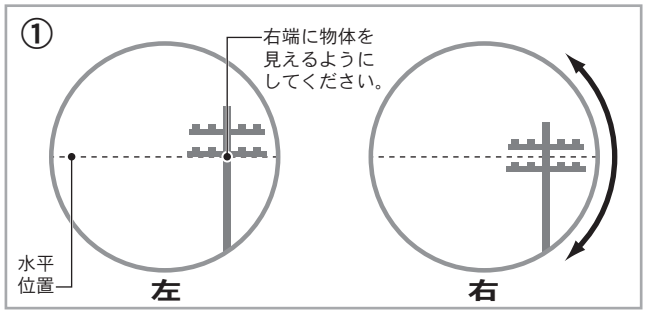
○調整方法

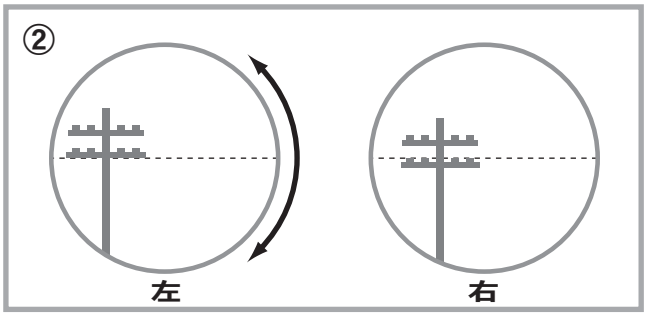
①最初に左側の接眼レンズで、1000m以上遠くの目標物を水平線上(視野を左右に横切る中心線上)で視野右端ギリギリに寄せてみてください。ここでは目標物として電柱の先端でご説明いたします。

片方に寄せるのは、視野円との間隔を確認することで位置関係を確認しやすくなるからです。
この時、右側の接眼レンズ視野にも同じ水平線上の右端ギリギリに目標物(電柱の先端)が見えるはずです。

位置がずれている場合は光軸が合っていませんので、調整します。この場合、左側はそのまま保ち、右側の接眼レンズをゆっくり回し、左側の像と同じ位置になるまで調整します。

②上記①で合わせることができない場合は、右側の接眼レンズをそのまま保ち、左側の接眼レンズを回して同様の調整を行ってください。





○観察のコツ

倍率が低いほうが鮮明に見えます。数種類の接眼レンズを使用する場合は、最低倍率の接眼レンズからご使用ください。その後、目的に合わせて徐々に倍率の高い接眼レンズと交換します。

製品についてのお問い合わせ
弊社ホームページ(下記URL参照)のお問い合わせメールフォーム、またはお電話にて受け付けております。
カスタマーサポートセンター 電話番号:04-2969-0222(カスタマーサポートセンター専用番号)
受付時間:9:00～12:00、13:00～17:30(土・日・祝日、夏季休業・年末年始休業・休業日を除く)

株式会社ビクセン 〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
[代 表] TEL:04-2944-4000 FAX:04-2944-4045
[ホームページ] http://www.vixen.co.jp

58キ-3-0.05S-50-(PIXEL1160)(M)